

学校の概要

学 校 名	日向市立日向中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	1 0	2 2
生徒数	1 1 9	1 1 1	1 1 3	2	3 4 5	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ楽しさを実感し、自己の可能性に挑戦する生徒の育成
～ 評価と指導の一体化を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

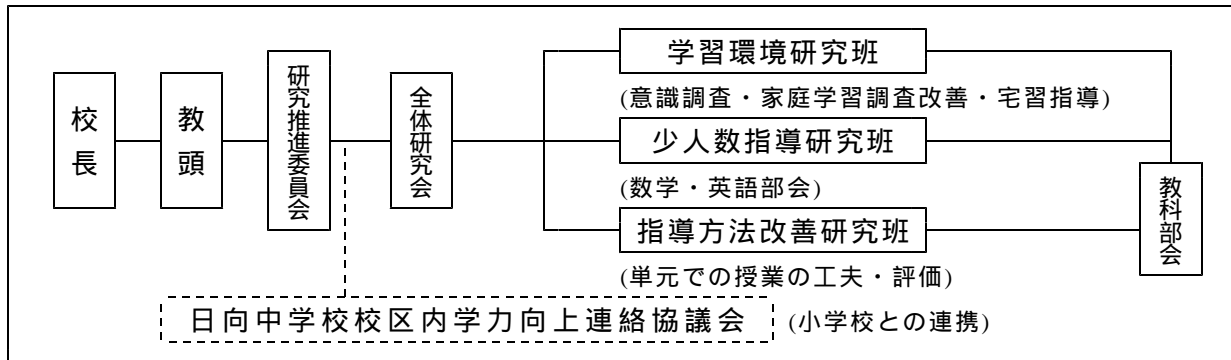
全学年、全教科で取り組む。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テ - マ 「的確な生徒の学力把握」「必修教科における授業の工夫改善」</p> <p>研究の見通し(仮説) ・学習の指導の場において、個に応じて、学ぶ楽しさを味わわせる学習指導・評価の在り方を工夫することにより、自己の新たな可能性に積極的に挑戦する生徒を育成する。</p> <p>研究の内容・方法 ・本校では「確かな学力」の向上を図るため、実態調査・分析をする<u>学習環境研究班</u>、習熟度別授業の在り方を研究する<u>少人数指導研究班</u>、指導と評価の一体化を図る<u>指導方法改善研究班</u>の三班を中心に研究を進めてきた。</p> <p><u>学習環境研究班</u> 標準学力検査の分析と対応 努力を要する生徒への指導の研究 家庭学習調査の実施と分析</p> <p><u>少人数指導研究班</u> 習熟度(理解度)別による授業の実施 前時の学習内容の小テストの研究と実施 1単位時間の後半におけるドリルの研究と実施 習熟に対応する教材の開発 問題解決的な学習を進める教材の開発と授業の工夫改善</p> <p><u>指導方法改善研究班</u> 評価についての事例研究 教科年間計画の整備、見直し 「観点別」評価の手順の研究 学習指導案形式の見直し 評定の算出方法の検討</p> <p><u>教科部会</u> 「学習の手引き」の作成 問題解決的な学習を進める教材の開発と授業の工夫改善</p> <p><u>校区内学力向上連絡協議会</u> 小学校との連携を図った指導方法の工夫改善 ・宅習指導法の情報交換 ・家庭学習調査の実施、検討</p>
----------------	--

平成 16 年 度	<p>テ - マ</p> <p>「単元の流れを考えた授業の工夫」 「小学校との連携を図った指導方法の工夫改善」</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の指導の場において、単元の流れを考えた学習指導・評価の在り方を工夫することにより、学ぶ楽しさを味わわせ、自己の新たな可能性に積極的に挑戦する生徒を育成する。 <p>研究の内容・方法</p> <p>学習環境研究班 標準学力検査・中学校基礎学力調査等の分析と対応 学習の手引きを活用した宅習指導の研究と実施</p> <p>少人数指導研究班 1単元の終了前1～2時間における学習理解度テスト及び指導の研究と実施</p> <p>指導方法改善研究班 単元の流れを考えた授業の構築</p> <p>教科部会 学習理解度を図る評価規準の作成 学習理解度を図る客観的なテスト問題(小テストも含む)の作成と実施</p> <p>校区内学力向上連絡協議会 小学校との連携を図った指導方法の工夫改善と共通指導事項の実施 ・授業者の交流 ・指導法の情報交換</p>
--------------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

- 1 指導者の立場から見た成果と課題
- ・研究の成果

授業の導入または展開時に、「本時の目標」「学習課題」のカードも用いて、その授業の「ねらい」「身につけさせたいこと」を明示し、生徒に把握させることにより、生徒自身が明確な課題意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができた。

問題解決的な学習を取り入れることにより、

- ・生徒たちが自ら判断したり、考えたりする「自らの考えを創る学習」
- ・友達と話し合ったり、相互交流する活動を行う「練り合う学習」
- ・生徒自身が自己評価・相互評価を行い、自己の変容や高まりを自覚したり、自信をもったりする「振り返る学習」

ができるようになった。

授業の導入や単元での展開場面で小テスト等での確認やドリルの時間を多く取り入れることにより、生徒の基礎学力が向上し、「できた!」「わかった!」という成就感を感じさせ、次への学習に向けての意欲づけができた。

学力向上を目標として、授業の改善を図ることにより、学校全体において学力向上の雰囲気づくりができた。

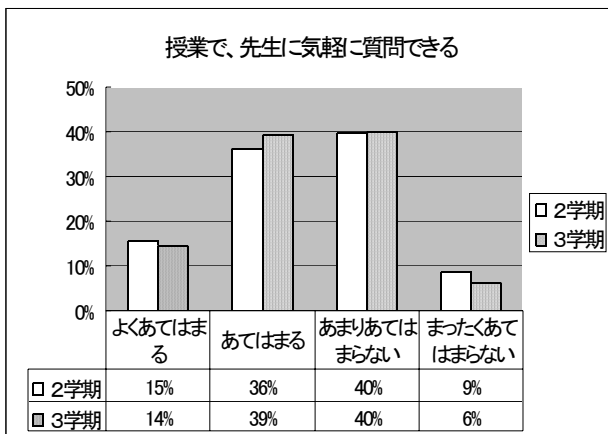
教師集団がお互いに共通理解・共通実践を行うことにより、授業の充実が図られ、落ち着いた雰囲気ですべての授業が進められた。

・今後の課題

「努力を要する生徒」へのさらにきめ細かい指導が必要である。
 「学習の手引き」の効果的な活用を考えていく。
 単元を見通した授業展開や学習理解度をはかる客観的なテスト問題の作成などを含めて、評価と指導の一体化をさらに深める必要がある。

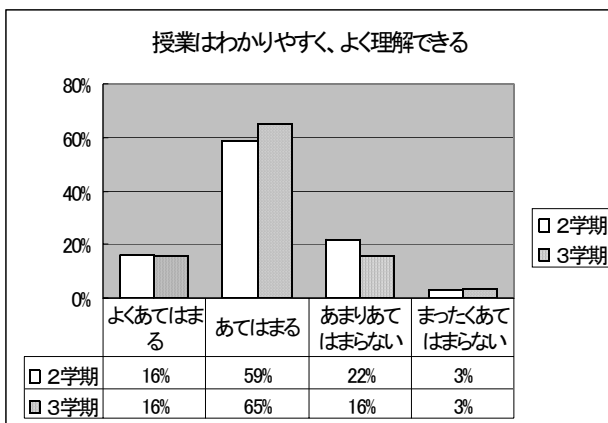
2 生徒の立場から見た成果と課題

本年度は「授業」の重要性を認識しながら、多くの工夫を取り入れ、教師個々の技能の向上を図ってきた。そこで2学期と3学期に、生徒による授業評価を実施し、いくつかの成果と課題を得ることができた。(成果 課題)



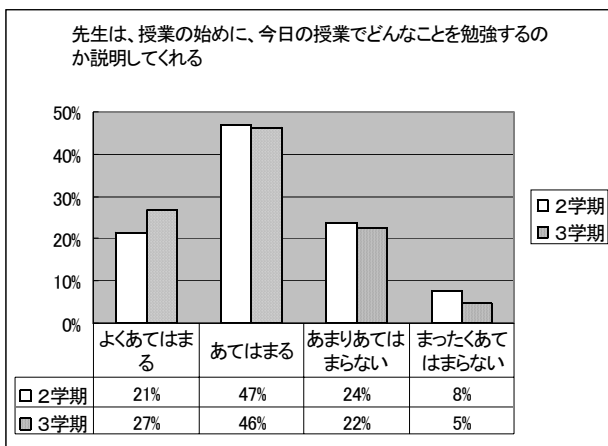
学校全体が生徒指導面で安定しているため、授業がきちんと成立し、授業する雰囲気づくりができています。

約半数が「あまりあてはまらない」と答えしており、教師主導の教授型授業があり、気軽に質問できないのではないかとと思われる。



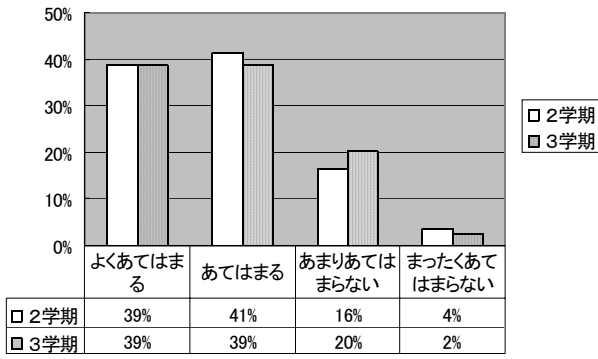
3学期は、約80%が「あてはまる」で、導入を含めて、教師が授業の工夫をしており、なおかつ個に応じた授業を行っているためと思われる。

約20%の「あてはまらない」生徒にも意識を向けて指導を考えたい。



多く授業で本時のねらいが明確にされており、生徒にも高い割合でその授業での「本時の目標」や「学習課題」を把握させていることがわかる。

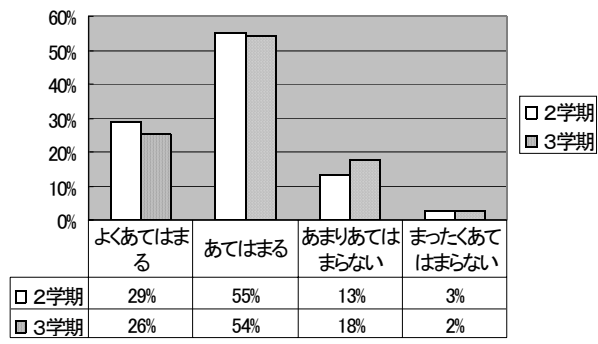
先生は、生徒が「できたか分かったか」などを確かめながら授業を進めている



約80%の生徒が「あてはまる」と答えており、授業の導入や展開場面での挙手や小テスト等での確認が行われていることを示す。

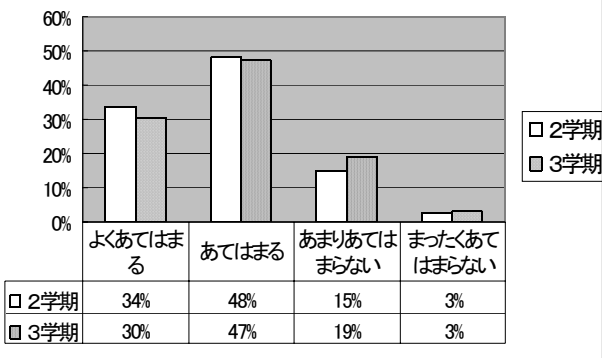
3学期、「あてはまらない」生徒が増え、授業進捗の関係で十分な時間確保ができていないのではないかとと思われる。

先生は、生徒が意欲を持って取り組めるように授業の工夫をしている



約80%の生徒が「あてはまる」であり、わかる授業・個に応じた授業が展開されていることがわかる。その中で、導入場面での問題の工夫や教材の工夫により生徒が関心、意欲をもって、学習に取り組んでいるのではないかとと思われる。

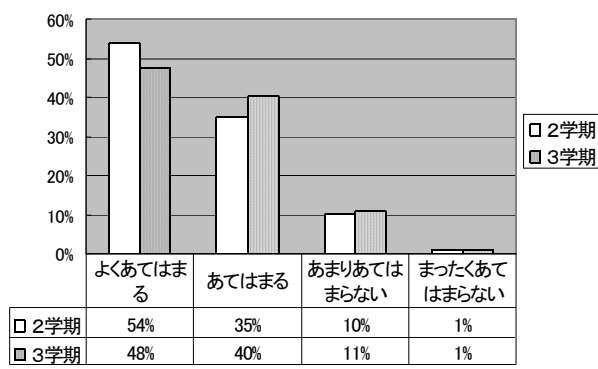
先生は、生徒一人一人を大事にして授業を進めている



約80%の生徒が「あてはまる」であり、個に応じた授業が展開されていると思われる。

約20%の「あてはまらない」生徒にも意識を向けて指導を考えたい。

先生は、間違った答えや発表なども、しっかり受けとめてくれる



約90%の生徒が「あてはまる」であり、教師側の姿勢もあるが、学級経営を含めた学校全体の共感的な人間関係の良さがうかがえる。

学力把握のための学校としての取組

「学力」を各教科でどう捉えているか、観点別学習状況の評価規準をもとにはっきりさせた。

標準学力検査の結果の分析と対応

・ 4月に実施した「標準学力検査」を2、3年については過年度のデータと比較し、学力の定着状況を把握した。

・ 1年については、小学校の検査結果と比較した。

学期末に行う教育課程達成状況の確認と対応

・ 各教科において学級別に5段階の評定を人数で表し、それぞれどのような対応をとってきたか記述した。また1、2の段階にある生徒へ今後どのような対応をとっていくか、4、5の段階を増やすためにどんな対応をとるか、具体的な方策を検討した。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

東臼杵地区学力向上協議会での取組

期 日	内 容	会 場
6/23	研究内容協議	宮崎県延岡総合庁舎
11/20	実践発表	延岡市立西階中学校
1/29	研究の成果と課題	延岡市立図書館

日向中学校校区内学力向上連絡協議会での取組

期 日	内 容	会 場
5/19	標準学力検査の報告	富高小学校
6/17	小学校への依頼事項の協議	日向中学校
8/19	学力向上講演(宮崎南高校:帖佐利昭校長)	日向市社会福祉協議会
8/27	家庭学習調査の検討	日向中学校
10/20	授業参観(中学校参観日)	日向中学校
10/21	TV弊害プリント配付	全学校
11/27	富高小授業公開参加	富高小学校
12/26	宅習の量・宅習の仕方について	日向中学校
1/23	授業参観(小学校参観日)	富高小学校
2月	まとめ(予定)	塩見小学校

小学校の先生方も数名参加

次の各項目ごとに、該当する個所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無